〈第56号〉 2014年4月1日発行

ふなばし 国際交流協会ニュース

FIRA fira.jp

たのしく新年を祝う会

コミュニティスタジオ　アートマンにて「たのしく新年を祝う会」

▲参加者持ち寄りのごちそう

会長のあいさつ▶

◀しし舞

▼餅つき風景

1月26日（日）11時より薬円台にあるアートマンで文化・交流委員会主催の「たのしく新年を祝う会」が開催された。当日は好天に恵まれ7ヶ国からの16人の外国人を含むおよそ100名が1品持ち寄りで参加した。それぞれの国の人たちが、「明けましておめでとうございます」を15言語で表記して皆で挨拶しあった。

乾杯の後、各国のお料理、お菓子、飲み物に舌鼓をうち、飛び入りありの自慢の芸に興じた。演目にはインドネシアのレンダさんによるアンクルンの演奏、斎藤さんの白狐の舞、夏見母子寮の子供たちによるばか面踊り、ペルーのグロリアさんの踊り、青田さんのマジック、イイキンさんのミャンマーの踊りなど盛り沢山あり、演者の皆さんは素晴らしい芸を披露された。

外では有志による餅つきもあり、からみ餅、黄粉、餡、しょうゆ、お汁粉とバラエティーにとんだ食べ方のお餅、芋汁、甘酒を味わった。

参加者の方々は笑顔で満足げに帰宅の途につかれた。

広報委員　中川

日本語学習支援者養成講座を受けて（10月7日~11月28日）

2年に1回開かれている『日本語学習支援者養成講座』が終了しました。「小学生の頃日本語教師に憧れて」「外国人に日本語について聞かれて答えられなくて」「海外生活で外国語を学ぶ大変さと楽しさを知ったから」など、受講動機も年齢も人生経験も様々な37名全員が修了証書を手にしました。

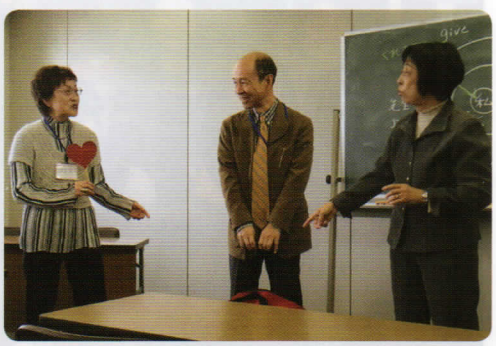
日本語ボランティアとは？外国語としての日本語とは？初級の文型とは？今まで何気なく使い、自分にとっては一番簡単なはずの日本語を外国語として考える。毎回新鮮な発見があると同時に、これを「日本語の十分解らない人に」「日本語で」理解してもらう、という壁の高さに不安にもなりました。

毎回授業の初めには、生徒同士で「生徒役」と「先生役」を演じる「実習」があり、先生役の回ってくる週は特に緊張しました。テキストに出てこない言い回しや単語を使うと、後から講師に厳しく指摘されます。それでも次第にユーモアあふれる演技や工夫を凝らした教材に、教室が笑いで包まれることも多くなりました。

しかし、これからが本番です。この先、教える楽しさややりがいの一方、力不足や先輩ボランティアとの差も痛感するようになることでしょう。今は気合いばかりの新人たちですが、一人前を目指して少しずつ経験を積んでいきたいと思います。

広報委員　福岡

講師を囲んで



講義中の実技風景

外国人相談窓口

平成25年度　外国人相談窓口受付件数集計表

内容別相談件数

項　目	件　数
教育／保育関係	7
就労関係	13
住居関係	10
医療／社会保障	42
市政	50
法律相談	2
生活一般	11
ビザ関係	7
相続／遺言	1
その他	30
合　計	173

国籍別相談件数

国　籍	件　数
中国	55
日本	32
アメリカ	4
フィリピン	10
ペルー	6
バングラデシュ	1
ガーナ	5
コロンビア	3
ブラジル	1
ネパール	1

国　籍	件　数
オーストラリア	2
インドネシア	1
スリランカ	2
韓国	4
イギリス	8
カメルーン	9
インド	3
その他	21
合計	168

この3月までの、平成25年度、1年間の相談受付は173件で、日本国籍を含めて38カ国の方々に対応しました。このところ、以前とくらべて南米やアフリカ出身の方が増え、世界中の人々に出会っていると感じます。市政、医療、社会保障についての相談が多く、合わせて全体の半分を占めます。たとえば、病気やケガで困った時に、何とか健康保険制度を使えないかというような、公的な制度についての問い合わせが目立ちました。日本に滞在し続けるためのビザの問題、仕事や住居探し、子どもの保育や就学など様々な困難を抱えている人たちに、何らかのヒントを示すことができました。

広報委員　福井

協会ニュースは船橋市国際交流協会ホームページ（http://fira.jp）でもご覧になれます。

『横須賀市災害時外国人サポーター養成講座』参加報告

本講座は毎年、夏は船橋市、冬は横須賀市で行なわれている。

今回は1月18日（土）～19日（日）、横須賀市武山コミュニティセンターにて講義、武山小学校の体育館で避難時宿泊体験訓練が行なわれた。

宮城県国際化協会次長兼企画事業課長の大村昌枝氏による「地域特性を考えた外国人支援・災害対策」と題した講座は、東日本大震災時に外国人支援に当たられた宮城県の事例を元にしたお話だった。宮城県においては、水産加工場に多くの外国人が研修生として滞在しているが、事業主による適切な避難誘導により被害は最小限にとどまったこと、また日本人と結婚している中国、韓国、フィリピンの女性たちが復興の大きな力となったお話を聞いた。こういったことから、災害時には“普段からの顔がつながっていることが大切である”など今後の船橋市における災害時の外国人サポーターの役割について、大変参考になる内容であった。

講義の後、宿泊体験場の武山小学校の体育館に移動し、校長先生から災害時の防災体制の説明を受けた。この体育館は災害時の防災設備が完備され、また、体育館の設計は避難所としての細かい工夫がなされており大変驚いた。

詳しくはhttp://book.geocities.jp/funabashi_fira2012/bousai/01_home.htmlをご覧ください。

総務委員 災害時外国人サポーター　白川　恵

講座を受けるサポーターの皆さん

宿泊訓練参加者

日本語教室紹介シリーズ

No.7 薬円台公民館（金曜日19：00～21：00）

薬円台教室は夜間に開講する学習者が二十数名の比較的小規模の教室です。進度ごとの7組のグループに分かれ、12、3名の支援者によって進められています。昼には仕事を持つ学習者が多く、皆さん学習時間の確保にいろいろ苦労が多いと聞きました。教室を訪ねたのが12月20日の2013年最後の開講日で、年末に帰国する中国人学習者の送別も兼ね年末パーティーが開かれていました。学習者からの提案レシピーをみんなで調理したということで、アヒデガジナと言う馴染みの薄い鶏の裂き肉を用いたペルー料理とお馴染みの中国料理の餃子がテーブルを飾っていました。こうしたプログラムからもいろいろと人の和をはかるための工夫をみることができます。皆さんの会話が賑やかに和気あいあいに弾んでいるので筆者も飛び込みの仲間入りを試みてみましたが、自分の日本語が混乱して意思疎通の難しさを改めて痛感しました。皆さんの和やかで絶妙なコミュニケーションの展開を目の当たりにして、教室では日本語の学習に留まらず、人と人の関係づくりに日頃より多くの努力がはらわれていることを強く感じました。

ぎょうざ作り

ペルー料理作り

これで7つの日本語教室紹介が一巡しました。日本語教室は、多様な文化や環境を背景に持つ人々が持つ日本での生活の壁を少しでも低くしていこうとして行われている活動の一つです。

皆さんの快適な日本の生活に少しでも役立つことを期待します。

広報委員　廣田

～世界の国からこんにちは～
国際理解セミナー　ベナン共和国編

ベナン共和国についての国際理解セミナーが、駐日特命全権大使ゾマホン・ルフィン氏を迎え3月19日きららホールにて行われた。今回が5回目で、280名余の来場者があり大変盛況であった。本セミナーは協会員をはじめ幅広く市民が参加して、それぞれの国の現状や将来像を在日公館から直接聞き、広く世界への関心を高めていこうと続けられている。

在日歴20年のゾマホン大使は流暢な日本語で巧妙な話術を駆使し、建国60年の若い国家の現状と将来展望を熱く語られた。講演直前のビデオ紹介では、赤道下の厳しい地勢条件の中で綿花栽培などの農業を主体とする明るい民族性を持つ発展途上国家が紹介されたが、大使は現状30%台と低い識字率を国家的な教育制度の充実によって向上させ、それを礎にして将来の国家発展を期していることを力説された。

大使自身もNPO教育関連法人の幹部として深く教育向上に取り組んでおられることから、協会としても教育振興NPO活動の順調な進捗の一助へと当日会場内に義援金箱を用意して参加者の篤志を募った。

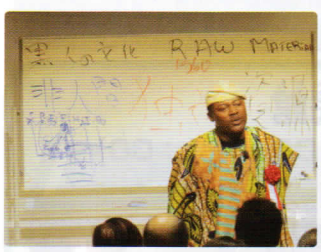
講演の中で大使は国際交流の在り方を自己の経験を基に『先ずは自らの国の文化や歴史を客観的視点から認識し理解するとともに、相手国の文化や歴史をも充分認識し、理解しておこなわれなければならない』と熱く語りかけたのが印象的であった。我々も座右の銘としなければならないと思う。

広報委員
石原

ベナン共和国概要

位　　置：	西アフリカ・ギニア湾北岸の熱帯域（北緯5～10度、東経5度）（隣国　東：ナイジェリア　西：トーゴ）
建　　国：	1960年（仏領より独立）
首　　都：	ポルトノボ
主要言語：	仏語
総 面 積：	11.5万km²
総 人 口：	920万人（2010年）
国家GDP：	66億$
主要産物：	綿花、パームオイル
識 字 率：	約35%
近年の就学率：	80%

ベナン共和国 国旗



お　知　ら　せ

平成26年度総会を開催します

今年度の事業報告及び新年度の事業計画等を審議、決定するため下記のとおり総会を開催します。なお、総会に付議する議案は、後日会員の皆さんに送付いたします。

日　時　平成26年5月12日（月）午後から
会　場　船橋市役所11階大会議室（船橋市湊町2－10－25）

平成26年度の会費納入のお願い

協会の会費は、年度会費です。毎年4月から翌年3月までの1年間の会費です。

同封の「払込取扱票」でお近くのゆうちょ銀行または千葉銀行へお振り込みください。

＜年会費＞　個人　　一口　　1,000円
　　法人・団体　一口　　10,000円

※二口以上の場合はお手数ですが通信欄に口数記入のご協力をお願いします。

＜振込先＞・ゆうちょ銀行　口座番号記号　00170-7-57755
　　加入者名　　船橋市国際交流協会

・千葉銀行船橋市役所出張所　口座番号　普通　3018415
　　口座名義人　　船橋市国際交流協会　会長　田村　泰一
　　（ふなばししこくさいこうりゅうきょうかい　かいちょう　たむら　たいいち）

あとがき

3月上旬に、アジアの発展途上国を旅行した際の印象記である。観光地の行く先々で、日本語で現地人が土産売りに寄って来る。「何個千円だよ」、「何本千円だよ」、「何枚千円だよ」と、千円の相場言葉が付きまとう。千円の値打ちを知ってか、知らぬか、面白半分に買う気の言葉を掛けると、数量が段々と増えて行く。何か千円を馬鹿にされている思いであった。

発展途上国ではいつもながら、当然の情景であるが、過去日本でも50年前のオリンピック時代では観光地に行けば、そんな情景があったことを思い出す。6年後の東京オリンピックでは絶対に安売りの印象を、外国人に見せたくない意識を強くした。

(K.N)

〈発行〉船橋市国際交流協会　〈事務局〉船橋市役所国際交流室内　〒273-8501　船橋市湊町2－10－25
TEL 047－436－2083　FAX 047－436－2089　ホームページアドレス http://fira.jp